

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

東洋コルク株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県竹原市東野町字下垣内1660番地

(3) 業種

1842 硬質プラスチック発泡製品製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は令和3年度を基準年度とし、令和6度から令和6年度までの1年間とする

3 計画の基本的な方向

当社は、環境に優しい製品の提供・管理活動を通じて、地域及び地球環境保護に貢献するための努力を継続的に実施する。

- 1) 環境に優しい製品・サービスを提供する。
- 2) 環境マネジメントシステムについて監査を実施し、環境目的及び目標を定め、必要に応じて見直しを行い、システムの継続的改善及び汚染予防に努める。
- 3) 環境法規制及び当社の同意したその他の要求事項を遵守すると共に、自主基準・規定などを整備し管理の向上に努める。
- 4) 廃棄物の削減・再利用活動に取り組む。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	令和 3（2021）年度	令和 5（2023）年度
二酸化炭素	4,136	3,800

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量（t-CO ₂ ）	
	基準年度	直近年度
	平成（ ）年度	令和（ ）年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス （ HFC PFC SF ₆ NF ₃ ）		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)	削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				0
非エネルギー起源CO ₂				0
メタン				0
一酸化二窒素				0
その他 温室効果ガス				0
温室効果ガス 実排出量総計				0
温室効果ガス みなし排出量		—		0
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

ショット数

単位：排出量(t-CO₂），原単位量（kg等），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 (令和 (3) 年度)			原単位 削減目標 削減率 (d)	目標年度 (令和 (6) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)		排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	4,136						
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	4,136						
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	—	—	1.01	14.9	—	—	0.86
目標設定の考え方	1ショットあたりのエネルギー使用量でショット原単位を計算し年1%の削減目標						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	原油換算 1.0 kl 削減	工場照明（外灯含む）のLED化
2	燃料使用量の削減	原油換算 10.0 kl 削減	成型方法・条件の見直し 成形機・金型のメンテナンス 廃熱の有効活用
3	電気使用量の削減	-	太陽光発電の導入を検討
4			

※ 「原単位」で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合 計 量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

ISO14001環境マネジメントシステムを取得、関連する役割に対して責任及び権限を割り当て、環境目標を設定し取り組んでいます。

(2) 実施状況の点検・評価

生産本部を中心として、省エネルギー・省資源・リサイクル等の目標を設定し、定期的に進捗管理を行い継続的に改善を行っている。

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて閲覧する。